



Yonago East Weekly

50年を経て、さらに求める「奉仕の理想」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 TEL (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 TEL (0859) 36-1111
- 会長/永島清孝 ●幹事/今出 上 ●会報/黒見純治

出席報告

会員数 112名
 出席数 75名 欠席数 33名
 出席免除会員 4名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君
 出席率 70.54 %
 補正出席率 前回 12/19 68.75 % 12/12 68.47 %
ビジター

ミーキャップ

会員10名(1/7米子南RC) 理事12名(1/8理事会)

会員10名(1/10米子中央RC)

会員20名(1/18米子RC)

今週のお祝い

出席100%祝:10年 小田浩一君 31年 田淵亮達君 35年 宮本 守君

スマイルBOX 22,000円 (827,000円)

出席100%祝:宮本(守)君、小田君、田淵君
 夫人誕生祝:荒川(圭)君、江原君 結婚記念日祝:村木君、尾沢(裕)君 創立記念日祝:石井君、宮永君、桶村君

会長挨拶

皆様改めまして新年おめでとうございます。年が改め西暦2019年、平成31年となりました。ご承知のように今年は今上天皇陛下が4月30日で退位され、皇太子殿下が5月1日に即位されます。5月より平成から新しい元号になる特別な年になります。

昨年は我クラブで卓話をいただいた境港出身で読売テレビチーフプロデューサーの結城豊弘氏が年末の新聞に2019年は干支では己亥であります。己亥とは植物や樹木が健やかに生い茂る。十二支の最後になります亥は種子、種です。種子の内部に生命が満ちている状態で次の活躍の時を見据えてエネルギーが満ちるのを待つ年でもあると書かれてました。

まさに米子東ロータリークラブは今年の干支のように全てが整っていていつでも次の行動に活動に取り組む状態になっていると思います。本年度のクラブ運営方針にある50年を経て、さらに求める奉仕の理想それに向かって一步でも進んでいきたいと思えます。本年度も半年が過ぎました。次年度の役員も決まり予定していた行事も終わり、後は今年の5月にソウル芸場ロータリークラブとの友好交流10周年を記念して多くの会員の皆様と訪韓したいと思います。今年もロータリー活動を通して充実した一年が過ごせますように気合いを込めて会長職を全うしたいと思います。どうかよろしくお願ひします。

皆様におかれましても健康で活躍されより良い一年になりますことをご祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

1. 1/30例会終了後、クラブ協議会開催 (理事・リーダー)
2. 1月ロータリーレート1ドル112円(12月と同じ)
3. 第42回インターアクト地区大会報告書 (ホスト 岡山北西RCより)
4. 創立50周年記念誌・DVD (玉野RCより)

5.例会変更のお知らせ

米子中央RC	1/10(木)夜間例会		
		ビジター受付あり	
米子	1/18(金)⇒1/14(月)変更	〃	
鳥取西	1/11(金)夜間例会	〃	
倉吉中央	1/16(水)	〃	〃
倉吉東	1/17(木)	〃	〃
鳥取中央	1/21(月)⇒1/16(水)変更	〃	
米子南・鳥取中央・松江南	1/14(月)休会		
	(祝日)	ビジター受付なし	
境港	1/15(火)	休会	〃
米子中央	1/17(木)	休会	〃
* 当クラブ	1/16(水)	休会	



<プログラム>

「年男放談」

小谷維夫 元会長



あけましておめでとうございます。ロータリーに入りまして、27年目になります。私を感じたことを4つ話させて頂きと思います。

まず、ロータリーに入会した時には、大変なところに入会したのだと思いました。右を見ても左を見ても御偉いさんばかりで最初の2-3年は非常に緊張しました。そして15年が経った頃、幹事の役目を仰せつかりました。

新納年度の幹事で、ちょうど40周年の時でした。私の性分ですか、何時もカリカリ・ピリピリしていました。それを見かねたのか、新納会長が声を掛けて下さいまして「幹事さん肩の力を抜いて、たかがロータリーのことだけん。」と言って頂き、少し気持ちが楽になったおかげで、何とか1年持ちました。

そんな時に、幹事とは一体なんだろうと考える事がありました。そんな時パツと閃き、殿様を支えて城下町が平穩に過ごせるよう、いろいろな事に気配りしながら時にはお殿様を諫めないといけない、まさに筆頭家老の役目が、幹事なのかと思いました。

後に、5年ほどして会長職をする事になりました。その時も性分なのか、カリカリ・ピリピリと最初の頃はしてました。その時の幹事は、現会長の永島会員です。事務局に行き、あれこれ指示をしてたところ、まるで会長は幹事様のようなのですよねと言われ、1人でピリピリしてた私は、これらは幹事が行う作業なのかと気づき、何でも自分でするのではなく、周りに振ろうと思い、永島幹事にお任せし、共に意見を出し合い段取りする事にしました。

そんな時に、ロータリーの会長とはなんだろうと思うことがあり、考えましたところ、この幹事さんは、いずれは会長職に付くだろう、米子東ロータリーの伝統を正しく伝え、さらに発展して頂きたい。幹事さんと一緒に仕事をする中で、会長として伝える事を伝え、幹事さんと仕事をする事により幹事様をしっかり育てることが、会長の隠れた仕事だなどと思いました。

私にはロータリー活動の中で幾つかの失敗があります。まず、理事の時に詫び状を2通書き、会長の時にも大きな失敗が2つありました。

26年間のロータリー活動の中には、失敗もありましたが、終われば笑い話になります。大きな流れに流されながら、実は流されないように、急ぎながら、実は急がず転ばないように、まだ、もう少し力が残っておりますので、皆様方とロータリーライフをもう少し楽しませて頂きたいと思います。

足立耕太郎 会員



あけましておめでとうございます。私も気づけば還暦と言うことで、60歳になります。私はロータリー暦が5年しかありません。親睦委員しかしてませんので何を話したらいいのかと思いましたが結果、自分の事をすこし喋らせて頂きます。

私は、思うがまま好き勝手に個人商店の3代目酒屋を60歳までさせて頂きました。家族・社員・友達に恵まれたおかげだと思います。こんな私ですが、無鉄砲で何を考えているのか判らないのではなく、実は自分のプランをしっかり持ってココまで来ました。

30歳で結婚をした時、友人のライフプランナーに人生のプランニングをちゃんとするようアドバイスを受け、30歳から60歳までのプランニングを自分なりに致しました。しかし、そのプランニングの到達点が60歳でゴールが今年やって来ます。結婚が平成元年、還暦が元号変更年、自分は非常に区切りの良い人生を送っていて今は人生の第4コーナーを曲がる所のような気がします。

そんな中で、36歳の時、人生の転機・人生観が変わったことがありました。それは、米子青年会議所でネパールに国際交流員としてヒマラヤのトレッキングに行った時の事です。その出来事とはシェルパー様から素晴らしい言葉を頂いた事です。エベレストに登頂できる人はほんの僅かな人のみです。登頂したければ、ビスターラを大事にしないと。ビスターラとはネパール語で「ゆっくり」と言う意味です。ゆっくり足元を見ながら歩かないと到達できない。仕事も人生も、いきなり頂点を目指すのではなく身近な山からすこづつと言う事を教わりました。とにかく、ガツガツ1位を狙うのではなく、地に足を着けじっくり、ゆっくりということを教わりました。

去年、60歳までの区切りとして、親族遺品の断捨離をすることが出来ました。次の世代には残せないと思い、以前から気にしてた事が人生の第4コーナーの節目までに出来、大変、満足感・達成感があります。今後人生の第4コーナーは、若干の微々たる社会貢献と肩の力を抜いて皆様と共に豊かな人生を送りたいと思っております。

今後も末永く皆様とお付き合い出来るよう、よろしくご願ひ致します。

次回プログラム

1/23 「有訓無訓」 社会福祉法人こうほうえん

理事長 廣江 研 氏

1/30 「年男放談」 高田 剛 会員

木山力哉 会員

松浦啓介 会員